



大井町議会だより 2016.11.1 No.189

ひ
た
た
ん
よ
ら
う

第4回臨時会（一般選挙後の初議会）…………… 2

正・副議長他議会の体制が決まる

定例会（第3回）…………… 4

平成27年度決算認定

8月22日から25日までの4日間

一般質問 ここが聞きたい(5人) …………… 9

中学生議会 …………… 11

町のこの人あのひと …………… 12

「地酒で乾杯！」商業の発展を願い

大井町のPRに力を注ぐ

すずき ゆきやす
鈴木 幸康 さん



初の中学生議会の議員

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第4回臨時会を開催

～一般選挙後の初議会～

9月11日に行われた町議会議員選挙により14人の議員が選出され、改選後の初議会となる第4回臨時会が10月3日に開催されました。

出席議員で年長の石井勲議員が臨時議長となり、仮議席の指定を行い、議長選挙への移行の際休憩をとり、本町議会では初めての「正副議長志願者の所信表明会」を開催しました。

この表明会では、小田議員が議長を志すスピーチを行いました。他の志願者はなく、直ちに投票による選挙を行った結果、小田議員が当選となりました。

次に新議長のもとで、副議長の選挙を行い、細田勝治議員が選出されました。

その後も議会人事は、粛々と進み3ページに掲げる人選が行われました。

正副議長選の結果

(投票総数は、ともに14票)

議長選挙		副議長選挙	
小田 眞一	11票	細田 勝治	11票
熊田 和人	2票	鈴木 武夫	1票
曾根田 徹	1票	熊田 和人	1票
		無効	1票

就任のごあいさつ

町民の皆さまには、日頃から町議会の活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちは、このたびの初議会における正副議長選出選挙の結果、大井町議会の議長と副議長に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、時代は度重なる分権改革の進展に伴い、自治体の自由度、意思決定の範囲が拡大し、政策判断の重要性が増してきているものと認識しております。

それゆえに、二元代表制のもとでは、町長だけでなく私たち議会の意思決定能力も問われ、自治体経営・町政運営に大きな責任を負っているものと考えます。

本格的な少子高齢化社会の到来による人口減少問題など、直面する多くの課題に適切に対応していくためには、「行政の監視機能」はもとより、「政策提案」の充実に向けて、多面的な角度から十分審査し、議会の取り組みをしっかりと伝え、同時に町民からの情報や意見もしっかり受け止める、町民と議会、双方向対話型の取り組みを進め、議会と町民のつながりを強化していくことが大切だと考えています。

もとより微力ではございますが、議会基本条例の精神を十分認識し、公平、公正かつ円滑な議会運営に努め、町議会に對する町民の皆さまの負託に十分こたえられるよう最善の努力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご示唆、ご支援のほどお願い申し上げます。



副議長
ほそだ かつじ
細田 勝治



議長
おだ しんいち
小田 眞一

議長に 小田 眞一 氏 副議長に 細田 勝治 氏 を選出

委員会等の構成

企画経済常任委員会



委員長
石井 勲



副委員長
牧野 一仁



委員
鈴木 武夫



委員
北村 正夫



委員
細田 勝治



委員
諸星 光浩



委員
熊田 和人

教育福祉常任委員会



委員長
瀬戸 和雄



副委員長
伊藤 奈穂子



委員
清水 豊司



委員
小田 眞一



委員
曾根田 徹



委員
清水 亜樹



委員
田村 俊二

一部事務組合議会議員

足柄上衛生組合

小田 眞一

瀬戸 和雄

足柄東部清掃組合

小田 眞一

細田 勝治

石井 勲

議会運営委員会

委員長 清水 豊司

副委員長 石井 勲

委員 北村 正夫

委員 瀬戸 和雄

委員 伊藤 奈穂子

委員 牧野 一仁

広報常任委員会

委員長 細田 勝治

副委員長 諸星 光浩

委員 曾根田 徹

委員 伊藤 奈穂子

委員 熊田 和人

委員 牧野 一仁

委員 田村 俊二

平成27年度決算認定

ふるさと納税始まる…今後に期待

第3回定例会は8月22日から25日までの4日間の会期で開催され、平成27年度の6会計の決算、平成28年度5会計の補正予算等を審議し、全ての案件を可決しました。また、行財政全般にわたる一般質問には5人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

単位：万円

会計		歳入	歳出	差引
一般会計		56億5,555	52億2,539	4億3,016
国民健康保険特別会計		22億2,654	20億4,329	1億8,325
後期高齢者医療特別会計		1億7,729	1億6,422	1,307
下水道事業特別会計		5億6,357	5億5,731	626
介護保険特別会計		9億8,850	9億7,066	1,784
下水道事業会計	収益的支出	3億0,771	2億7,242	3,529
	資本的支出	0	1億2,017	△1億2,017

決算審査ダイジェスト

一般会計

総括・歳入

問 国の法人税引き下げによって企業業績に影響はあるか。また、税収の減に対する町の対応は。

答 法人の業績への影響は町として把握することが難しい。
問 固定資産税を不納欠損にした要因は。
答 差し押さえができる状態であれば行うが、抵当が付いているものもあり不納欠損という形にせざるを得なかった。



問 ふるさと納税は町としてプラスになっているか。
答 制度運用から日も浅く、現状では評価は難しいが、トータルでプラスになるように内容を充実させていきたい。

歳出

問 足柄上地区資源循環型処理施設の負担金が増額になっている理由は。
答 人件費や負担金の増額によるもの。

問 町道4号線の拡幅工事について、交通の安全に対する効果や現在の啓発は。



ふるさと納税返礼品の一部

定例会(第3回)

問 従来のものより広くゆるいカーブになったことで、改善がなされたと考えているか。



拡幅工事中の町道4号線(山田)

答 軟に対応している。
問 がん検診受診者の増加の要因をどのように分析しているか。

問 給食センター職員の数は適正に保たれているか。

答 平成27年度は不足していた。今年度は不足の状態があったが、求人によって充足する見通しは立っている。

問 がんに関心した著名人等の報道が影響しているのではないか。また、クーポン券の配布も浸透してきていると感じる。

答 がんに関心した著名人等の報道が影響しているのではない。また、クーポン券の配布も浸透してきていると感じる。

問 大井スクールカウンセリング事業について、カウンセリングを受けた方も受けられない声もある。実施回数に制限はあるのか。

答 臨床心理士の方のスケジュールもあるが、学校側から要望を受けて柔

問 農村公園の管理委託の内容は。

答 敷地内の樹木管理や除草が中心である。
問 給食費・給食材料費は公会計になっていない

が、他町の状況も合わせて適切か。
答 適正に管理されていると考えている。他町でも給食センター方式を取っているところは同様である。

問 金子児童公園の全面芝生化に取り組んだが、効果はどうであったか。また、今後他自治会にも波及させていくのか。

答 金子児童公園の全面芝生化に取り組んだが、効果はどうであったか。また、今後他自治会にも波及させていくのか。

問 芝生は順調に生育しており、効果を感じている。地域との協働という部分があるので、まずは自治会の希望を聞きたい。

答 青年就農給付金制度の対象者数は、昨年度は2名、今年

度は1名である。年齢要件があるため対象者が減となった。

問 自転車の安全講習としてスケアドストレートを中学生対象に初めて実施したが、今後の事業展開と対象範囲の拡大は。

答 何年かに一度というペースで実施を考えている。シヨックの強い講習であることから対象範囲は検討していきたい。

問 基金をより有効に運用していく考えは。

答 安全かつ適正な運用を第一に考えている。資金の状況を勘案した中で考えていきたい。

国民健康保険特別会計

問 保険税の収納率の向上のための取組みは。

答 公平性の観点からも預金や財産の調査、差し押さえ等あらゆる手段を使って収納体制を強化していきたい。

問 大井町の保険税率は高いのではないか。

答 応能応益の割合によって変動するので単純比較は難しいが、総合的に見れば1市5町の中で中間であるといえる。

下水道事業特別会計

問 決算書に誤記載があったとのことだが、今後の改善策は。

答 今後はシステムを盲信せず、担当者を含めた複数の目でチェックしていくことで再発を防ぎたい。

介護保険特別会計

問 認知症の方が特養やグループホームに入所したいという希望を示した際、町の役割として施設入所を円滑に行うための手助けをするべきでは。

答 基本的には希望者と施設とのやりとりということになるかと思うが、丁寧な対応に努めていきたい。

後期高齢者医療特別会計

問 普通徴収の割合が増えていく傾向を鑑みると今後滞納額が増えていくのではないか。

答 年金受給者の所得額によって変動していく。推移を見守りたい。



芝生化後の金子児童公園(市場)

※1 ゲートキーパー
このころの不調を抱える人や自殺に傾く人のサインに気づき、対応することができるところのこと。
※2 スケアドストレート
スタントマンによる交通事故の現場を再現し疑似体験することにより交通ルールやマナーを学ぶ講習のこと。

平成27年度 一般会計決算 討論

町長の増税ありきに反対

反対討論 曾根田 徹 議員

平成27年度の歳入決算額は各種交付金や臨時財政対策債の借入による一般財源の増加で財政力指数、経常収支比率の改善につながっている。しかし、町税の収入済額を前年度と比較したとき、個人課税分は約450万円減額、法人課税分は約9740万円の減額となり、約1億円以上の減収である。安倍内閣は、企業の税負担を減らせば、設

備投資、賃金は増えるとして法人税率の引き下げを打出してきた。町も法人税率の改正を行ったが、実際は賃金所得の伸びはなく、年金の削減、国保、介護、後期高齢者の税消費税等で低所得者の暮らしに負担がかかる政策になっていくことは遺憾である。

景気回復が実感できない中、国民健康保険税条例の改正により上限額を上げ保険税を引き上げたことは、厳しい生活状況を強いられる人が増えるばかりである。町民への健康を考えるなら、負担軽減は心身とともに心の活力を生むと考えるが一般会計からの法定外繰り入れを増額することができないのは、本気で町民の健康と暮らしを守る姿勢とはいえない。町側も切実な声にしっかりと答えた施策を講じるべきである。

以上のことから十分な政策ができていないとし、反対討論とする。

健全な財政運営を評価

賛成討論 清水 亜樹 議員

平成27年度の歳入総額は、56億5555万1千円、歳出総額は52億2539万4千円、実質収支額は昨年比4132万4千円増の4億550万円であり健全な運営であったと言える。経常収支比率は、84.3%となり前年度からは、2.0ポイントの改善となった。各種交付金の増加や臨時財政対策債の借入れが影響しているが健全な行財政運営がなされたと評価する。

次に平成27年度歳入歳出を見ると、歳入では町民税税制改正や固定資産評価替えの影響により減収となったが地方譲与税と各種交付金などの増

収に加え、ふるさと納税推進事業を12月から始めたことから増額となった。未だ経済情勢の上向きを感じることでできないが地方創生に関わるプレミアム付商品券発行事業や返礼品を用意した「ふるさと納税制度」などに取り組んできたことを評価致し、今後も期待する。

歳出では最終年度となった湘光中学校の大規模改修事業や待機児童解消のための民間保育園分園建設事業に補助金を支出するなど、教育の場の整備や子育て世帯の負担軽減に取り組んでいる。

また、大井中央土地区画整理組合への補助金を支出し区画整理事業地内に計画する公園については町民とともにワークショップを開催し事前準備を進めていることなどから、良好な居住環境の創出により、人口減少問題に積極的に取り組んでいる。

後期基本計画にかかげている「人づくり・町づくり・未来づくり」の一層の取り組みに期待し賛成討論とする。

議会会議規則

大井町議会会議規則の一部を改正する規則

(賛成全員)

*議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、出産の場合の欠席届について新たに規定するほか、既存条文の整理を行う。

財産の取得

(賛成12反対1)

*第一生命保険株式会社が所有する公園用地を取得するもの。

問 不動産売買仮契約書で、境界確認及び瑕疵担保責任において、第一生命は一切の担保責任を負わないことになっているが、不平等ではないのか。
答 顧問弁護士と相談し、第一生命と話し合う。

会期内に、2項目について改めて相互で確認書を取り交わされた。

補正予算

一般会計

(第3号)

(賛成全員)

*歳入歳出それぞれ1959万7千円を追加。

問 公園用地管理費は年間で400万円くらいになるが、委託先はどこか。
答 現在の業者に委託する。

特別会計

国民健康保険

(第1号)

(賛成全員)

*保険税が7月の本算定で、また決算で繰越額が確定したので、歳入歳出

にそれぞれ1億3216万1千円を追加。

後期高齢者医療

(第1号)

(賛成全員)

*決算で確定した金額を補正し、歳入歳出それぞれ32万8千円を追加する。

下水道事業

(第1号)

(賛成全員)

*歳入歳出それぞれ454万9千円を減額する。

介護保険

(第1号)

(賛成全員)

*決算に伴う金額が決定したので、歳入歳出それぞれ1242万1千円を補正する。

法のただし書を適用するための同意案件

大井町農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意を求めるもの。
(賛成全員)

人事

*本町においては認定農業者等が少数であるため、法の例外規定の適用について同意を求めるもの。

大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること

(賛成全員)

*橋本一男氏は任期満了となるので、再度選任するもの。

橋本 一男 氏
(再任 西大井在任)

大井町農業委員会委員の任命について同意をもとめること
(賛成全員)

*大井町農業委員会委員の任期満了に伴い、新たに任命するもの。

問 農協支部長に最適化推進委員及び農業委員の委員候補者を選出する要請があるが、条例では町長が選考委員に諮問することになっている。その整合性は。

答 法律に基づき、まずは公募と団体推薦を求めたものである。

藤澤 辰男 氏(篠窪)

柳川 進 氏(高尾)

深澤 増夫 氏(赤田)

柳川 忠男 氏(山田)

藤澤 憲吾 氏(山田)

露木 善一朗氏(金子)

間宮 均 氏(金子)

鈴木 静 氏(金手)

熊沢 伸一 氏(西大井)

澤地 正美 氏(上大井)

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること

(賛成全員)

*橋本淑子氏の任期満了に伴う後任の任命。

小島 茂子 氏
(新任 篠窪在任)

人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること

(賛成全員)

*内藤 剛 鈴木淳子両氏の任期満了に伴う後任候補者の推薦。

北村 公男 氏
(再任 金子在任)

鈴木 淳子 氏
(再任 金子在任)

山口 君儀 氏
(新任 柳在任)

第4回臨時会審議

人事

大井町監査委員の選任について同意を求めること
(議員)
(賛成全員)

*議員選出の監査委員の任期満了により、新たに選任するもの。

北村 正夫 氏
(新任 赤田在任)

大井町監査委員の選任について同意を求めること
(識見を有する者)
(賛成12・反対1)

*北村公男氏は任期満了となるので、再度選任するもの。

北村 公男 氏
(再任 金子在任)

審議した議案と審議結果 (平成28年第3回定例会)

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。

議案番号	議案名	議員名(議席順)と審議結果	清水 亜樹	諸星 光浩	伊藤 奈穂子	曾根 徹	神保 京子	細田 勝治	伊田 徳之	瀬戸 和雄	北村 正夫	小田 眞一	片野 昭	石井 勲	鈴木 武夫	審議結果
43	議会会議規則の一部を改正する規則		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	土地の取得について (第一生命保険(株) 公園用地買収)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
45	28年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	28年度国民健康保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	28年度後期高齢者医療特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	28年度下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	28年度介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	農業委員会委員の任命について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	教育委員会委員の任命について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定1	決算認定(27年度一般会計)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
認定2	〃 (27年度国民健康保険特別会計)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
認定3	〃 (27年度後期高齢者医療特別会計)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
認定4	〃 (27年度下水道事業特別会計)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
認定5	〃 (27年度介護保険特別会計)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
認定6	利益の処分及び決算認定(27年度水道事業会計)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

審議した議案と審議結果 (平成28年第4回臨時会)

○は賛成 ×は反対
小田眞一議長は、採決に加わりません。

議案番号	議案名	議員名(議席順)と審議結果	田村 俊二	牧野 一仁	熊田 和人	清水 亜樹	諸星 光浩	伊藤 奈穂子	曾根 徹	細田 勝治	瀬戸 和雄	北村 正夫	清水 豊司	石井 勲	鈴木 武夫	審議結果
55	監査委員の選任について同意を求めること(議員)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	監査委員の選任について同意を求めること (識見を有する者)		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

給付型奨学金制度の創設は

答 国が税を上げて対応すべき

曾根田 徹 議員



問 育英就学金制度を利用する人にとって期待されている、給付型奨学金創設を国が検討していたが見送られることになった。町は返済困難者に対しどのように考えているか。

町長 返済困難者が増えれば、対策を講じる必要がある。国の動向次第では町も給付型を検討する必要がある。消費税等の税を上げても国家が対応すべきで、消費税の増税を先延ばしに喜んでいる国民が大勢いることが我が国の大きな問題ではないか。

問 入学金などを補助することで借入金の負担を軽減し、学業に専念ができる考えや、教育ローンと奨学金を使って学費に充てているが、教育ローンには利子がつく。町は無利子で月額2万円以内

だが月額上限を上げる考えはあるか。

教育総務課長 給付型、増額を含め検討する。

問 奨学金の給付型を町から国へ要望や話をしたことがあるのか。

町長 全国の町村会で話したことはある。

問 他町は保証人1名だが、本町が連帯保証人を2名にしている理由は。

町長 返済の責任を果たしていたため連帯保証人を取っている。これは間違いないと自負している。



公平な学問習得のために

LED化に伴う条例の改定は

答 体育館条例の改正は考えていない



神保 京子 議員

冷暖房機器を使用している。個々にすると消し忘れ等も起こるし、頻繁な操作はかえって故障の原因にもなる。利用者には全部取り替えたブランドも上手に活用してもらい、事務所での操作で今後も行っていく。



照明がLED化される総合体育館

問 町総合体育館アリーナ照明のLED化に伴い照明使用料が安価になると思われるが、「体育館条例」の内容改定は考えているか。

町長 消費電力は低くなると思われるが利用料の改定は現時点では考えていない。

問 防犯灯LEDは管理会社の管理となるが体育館の管理はどうなるか。

生涯学習課長 水銀灯と比べ耐用年数が長くなるなどのことなので、これから考えていく。

問 故障していた昇降機はどうしたか。

生涯学習課長 今回の工事で撤去した。取り替え作業が必要な時は、足場を組む形になる。

問 生涯学習センターの冷暖房スイッチ操作が各部屋で出来るようになるか。

町長 現在、部屋の大きさや用途により3種類の

問 夜等は、冷房を入れるより窓を開け、虫対策の為、網戸を2か所ほどつけてもらう事で、節約になると思う。体育館や生涯学習センターで網戸の設置は出来ないか。

町長 取り付けの際のコストやメンテナンスの面から考えていない。

大井町のアパートの空室率は

答 22パーセントだ

鈴木 武夫 議員



問 耕作放棄地の荒廃農地を、町はどんな対策をするのか。
町長 管理者に除草作業をさせる。
 農地の集約を進め、農地利用をさせる。
問 荒廃農地にヤスデが大量発生して付近の住民が迷惑を被っている、町の対策は。



大量発生したヤスデ



危険な市場踏切

町長 現状を調査し、対応する。
問 ヤスデを駆除するための殺虫剤や石灰に町は補助すべきだ。
町長 調査した結果で対応を検討する。
問 市場踏切は前々から危険な踏切と言われている。早急に対策をすべきだ。

町長 相模金子駅の西側沿いの歩道計画と併せ踏切の片方にすれ違い施設を検討している。
問 アパートの空室率は県では35・54パーセントだ。町の空室率を伺う。
町長 町の空室率は22パーセントだ。

訓練会ひまわり閉所後の支援体制は

答 異なるニーズに沿った事業展開に努める

伊藤 奈穂子 議員



問 本町では乳幼児健診等で発達障害を持った児童を早期発見し適切な指導を行っている。しかし支援を必要とする就学前の児童の受け入れ先であった足柄上郡訓練会ひまわりが、平成28年度末に閉所することが決定した。訓練会ひまわり閉所後の支援体制は。
町長 平成29年度から既存のフォロワー教室に加え新しい教室を6回開催し現在の支援体制を維持できるよう取り組む。また引き続き県の「巡回りハピリテーション事業」の活用、さらに民間の児童発達支援事業所への通所

によるサービスの利用も視野に入れ異なるニーズに沿った事業展開ができるよう努める。
問 発達障害を持つ児童・生徒によりよい支援を行うためにも家族への心のケアや支援の考えは。
町長 今後、関係する部署や専門機関との連携を



アットホームな雰囲気での訓練会であったが...

図り相談体制の整備を行うとともに、発達障害者の家族等に対する支援策を検討する。
問 具体的な支援策としてペアレント・トレーニングを開催してはどうか。
子育て健康課長 子ども一人ひとりに支援を必要とする内容が異なるため

有効であるかを慎重に検討していく。
問 子育てする時のツールとして「子育てアプリ」の導入は。
子育て健康課長 インターネットを使った周知等も有効であると考えながら近隣の動向等見ながら慎重に検討する。

町人口の社会減対策は

【答】雇用創出・住環境創出の施策が必要

石井 勲 議員



問 町人口は特に社会減いわゆる勤労世帯人口の減少である。町の認識と対策は。

町長 このまま生産年齢人口減少が続くと、少子高齢化がさらに進み更なる人口減少に繋がり、地域社会における経済活動も衰退し雇用の縮小化



明日のために子育て支援を

ど町の活力が低下していくことが懸念される。生産年齢確保は喫緊の重要課題である。
問 勤労世帯人口の確保には職場の提供と子育て支援、そして教育の充実であると考えますが町の施策は。
町長 雇用の創出では「未病いやしの里センター」関連産業の集積・育成支援により企業が進出しやすい環境を創出し雇用の促進を目指す。
 子育て支援策では町単独や国県補助の上乗せ支援事業として、小児医療費・出産祝金・特定不妊治療費・妊婦健診・乳幼児健診等がある。これらの事業は、安心して出産・育児できるように

て世帯への経済的負担や心理的・肉体的負担の軽減を図り、健やかな育ちを支援している。
教育長 町では学力向上だけでなく「生きる力」の理念にもとづく知・徳・体の総合的育成を目指している。
 また積極的に学校公開を行い学校教育の目指すところを学校だけでなく広く家庭・地域との連携・協働に呼びかけをしたい。
問 世代間交流としてのパークゴルフ場整備は。
町長 町の課題を整理しながら、立派な施設を造らなければ運営上好ましくない。慎重に、建設に向けて判断していく必要がある。

議員と質問事項

議員氏名	質問事項
栗原 陽香	ふるさと納税の活用について
相田 大智	給食の残食について
加藤 美優	南海トラフ巨大地震の対策について
大川 優輝	相和地区の人口増加に向けた取り組みについて
倉田 凜	公園の建設について
山口 瑛莉子	ゆるキャラ「すいっぴー」での町おこしについて
増井 公汰	小・中学校のICT活用について
橋本 千文	町の広報活動について
可児 紗弥加	大井町の観光資源の有効活用について
内藤 岳史	総合運動公園の建設について

初の中学生議会を開催

平成17年から小学校5・6年生を対象に実施してきた「子ども議会」を本年は、中学生を対象とした「中学生議会」に変更し、8月8日(月)に開催された。
 今回は、1人の持ち時間を15分とし、持ち時間内では再質問が認められたことが大きな変更点で、増井公汰議長の進行のもと10人の議員が次々に登壇、議長も栗原陽香副議長に進行を交代し質問に立った。
 議員は、日頃感じている身近な問題を質すとともに、インターネットなど情報ツールを活用して得た他市町村の事例を引き合いに出し、町への提案も行った。
 なお議会教育福祉常任委員会は、当日にさきがけ、7月12日に中学生議員に説明会を行い、議場の立ち居振る舞いや再質問の要点などのアドバイスを行った。

● 町のこの人あの人 ●

「地酒で乾杯！」商業の発展を願い

大井町のPRに力を注ぐ



地区 大井 西
ゆきやす 鈴木 幸康 さん

6月の議会において議員提案である「大井町地酒で乾杯を推進する条例」が制定され、同条例を推進するため「大井町地酒で乾杯推進協議会」が設立された。その会長に任命された西大井在住の鈴木幸康さんを紹介する。

▼大井町に住んで

鈴木さんは昭和60年に奥様のご実家である大井町に越してこられ家族6人で暮らし始めた。

暫くの間サラリーマンがされていたが奥様が菜

剤師ということもあり平成2年、金子に末栄堂(薬局)を開業する。

▼商工振興会に入会

末栄堂を開業した時に大井町の商工振興会に入会し青年部として活躍する。その後、当時の会長であった大鹿さんの発案

により大井町独自で組織する「青壮年部」が設立し初代部長に抜擢された。

商工振興会として年間を通し様々な活動があるが中でもひょうたん祭りは一大イベントであり、

たぐさんの方々に喜んでいただき大成功を収めたときの達成感は感無量であると話された。
また現在は商工振興会の副会長を務められており今後の方向性についても熱く語られた。

▼地酒で地域の活性化を

商工振興会での実績が買われ今回の推進協議会では会長を任された。協議会の今後の取り組みとして町内にある蔵元をPRすることや、飲食店等と連携することにより伝統的産業を守り地域資源を掘り起こし地域の活性化に繋げていきたいと話された。

まずは11月に開催予定



の町制施行60周年記念式典に向けPR活動をしていくということ、のぼりやステッカーの活用など詳細はこれから決まっていくとのこと。

▼会長としての抱負

ソウルリカーである日本酒、とりわけ大井町の地酒を広く多くの方々に知っていただくために、今後いろいろな提案をしていく考え。そして大井町の認知度アップのためにひと役買いたい。

将来的には足柄上郡5町の観光の拠点となることを願い活動を続けていくと穏やかな笑顔で締めくくられた。

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しください

12月7日(水)午前9時 第4回定例会開催

編集後記

▼9月11日の町議会議員選挙で14の議席が確定し初議会において正副議長を始め各常任委員会のメンバーが決定しました。

▼広報常任委員会も新体制となり新たな船出となりました。

▼広報常任委員会は多くの町民の皆様と議会や町政を身近に感じていただけるよう「議会だより」や「ホームページ」「議会報告会」の充実に取り組んでいます。

▼今後も新たなメンバーの英知を結集し議会の活動をより分かりやすく伝えるための工夫を委員一丸となつて進めていきます。

伊藤 奈穂子



新たな広報常任委員です。(氏名はP3に掲載)